

本資料は個人的な助言ではなく、読者の個人的な目的や個別の状況を考慮していません。本レポート最後の重要なお知らせを参照願います。

目次	
概観	2
最近のインサイト記事	6
データレビュー	7
予測	8
データとイベントカレンダー	9
この先の5週間	10
重要なお知らせ	11

Contributors

David Plank
Head of Australian Economics
+61 481 917 043
David.Plank@anz.com

Felicity Emmett
Senior Economist
+61 2 8037 0571
Felicity.Emmett@anz.com

Catherine Birch
Senior Economist
+61 439 627 968
Catherine.Birch@anz.com

Adelaide Timbrell
Senior Economist
+61 3 9095 0331
Adelaide.Timbrell@anz.com

Hayden Dimes
Market Economist
+61 2 8037 0009
Hayden.Dimes@anz.com

Contact
research@anz.com

Follow us on Twitter
@ANZ_Research

QE 終了/国境再開/ロウ総裁は実質金利プラス化に「期待」

RBAは2月7日週、正式に量的緩和(QE)プログラムを終了した。当社はQE終了や量的引き締め(QT)への動きが、RBAの中心シナリオよりも早期の利上げ開始の代替措置とは考えていない。

QE終了は、昨年6月のターム物ファンディングファシリティ(TFF)終了や同11月の(荒っぽい)利回り目標(YT)政策終了に続く、異例な政策措置の巻き戻しの一環だ。金融政策正常化の次の段階は、現在の0.1%という「緊急」水準からのキャッシュレート引き上げだ。当社は9月に利上げが始まると考えている。

QE終了はそれ自体が金融引き締めを意味しない。RBAは一貫して、債券保有残高が重要だということを強調してきた。保有残高に関する決定は5月に行われる。当社はRBAが「受動的な」量的引き締めを選択すると考えている。相当長い期間、実務上のインパクトは非常に限定的となる。

ロウRBA総裁は議会証言で、中立的実質キャッシュレートは「願わくばプラス」という昨年の発言を繰り返した。これは市場が織り込んでいる水準より高く、市場がキャッシュレートのピークを十分高く織り込んでいないという**当社の見解**と整合的だ。しかし総裁はピークへの引き上げを急いでおらず、「忍耐強さ」を強調し続け、「待つことのリスクもあるが、早く動き過ぎるリスクもある」と述べた。

政府は2月7日週、ワクチン接種完了済の旅行者につき、隔離措置なしの豪州への入国を今月中に許可すると発表した。豪州への渡航距離が長いことを踏まえると、入国者数の回復は海外での経験と比べて低めとなるだろう。

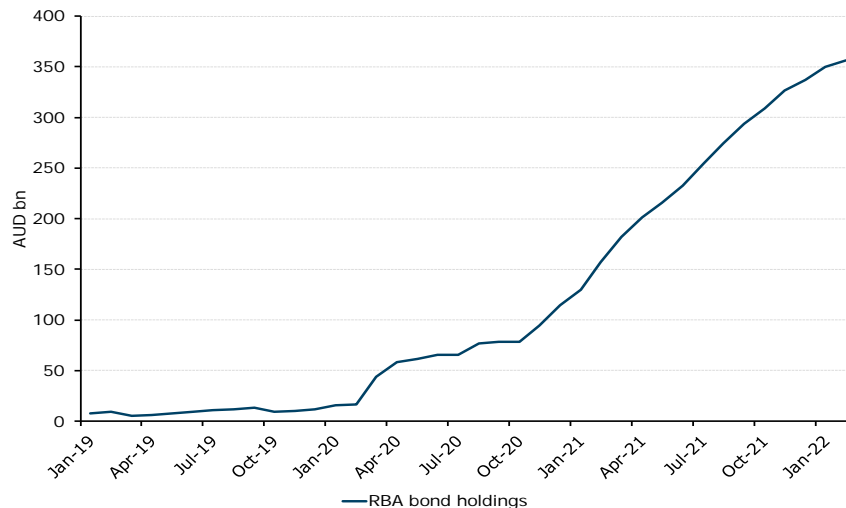
注目材料

2月RBA議事要旨(2月15日)：RBAから最近多くのコミュニケーションがあったため、RBAの考え方に関する当社の認識への追加情報は期待されない。

1月雇用統計(2月17日)：オミクロン株感染下でも未活用労働率は低下したとみられる。市場は結果が弱くても無視するだろう。後述のレビューをご参照。

今週のチャート

RBAの債券保有額はピークを付けた(少なくとも当面)



Source: ABS, ANZ Research



RBAの現在の豪国債とセミ債の保有残高は3,500億豪ドル強

QEが終了

デビッド・プランクの見解

2月7日の週にRBAのQEプログラムの下での最後の債券買い入れが行われた。2月14日週から豪州債券市場はRBAによる継続的な介入なく機能せねばならない。

QEは債券市場の幾つかの側面で重要な意味を持った。QEはセミ債の重要な下支えとなったほか、利回り追求の動きを支援することを通じて社債市場全般の下支えとなった。このため、QE終了はこれらの市場にもインプリケーションがあるが、終了は予想通りであることから、正式な終了前にインパクトは概ね織り込まれていた。

QEのマクロ経済全般への影響は特定がより困難だ。当社の見解では、QEは金融政策経路に関する期待への影響を通じて重要な役割を演じた。相対的な意味でも重要だ（詳細は後述）。

RBAは当初利回り目標（YT）政策を利用した。当時、殆どの他の中銀が大規模QEに踏み切る中で、YT政策は持続的ではないという当社の考えを示していた。QEを実施しないことによりRBAは豪州のイールドカーブを他国よりもスティーブな状態にし、豪ドルにも影響した。このため当社はRBAがいずれQEに動く可能性が高いと考えた。

RBAは2020年後半に同様の結論に達した。QE導入後、RBAはQEが豪10年国債金利を25bp程度押し下げ、豪ドルを下落させる効果があるとの試算を示した。

QE終了は必ずしもこれらの効果を反転させるわけではない。他国、特に米国でもQEを終了しているためだ。このため、RBAの政策変更は相対的に見て際立っているわけではなく、必ずしも豪国債市場のアンダーパフォーマンスにつながらないだろう。

とは言え、QE終了はRBAの利上げ開始タイミングに関する期待には影響する。RBAは「債券買い入れプログラムの下での買い入れを終了することは目先の利上げを意味しない」と述べ、QE終了と利上げとの関連性を弱めようと試みている。しかし、RBAが金融緩和の一部を巻き戻すのに十分に見通しに自信を持っているという事実が、RBAの意思を示している。このため、利上げに関する期待に対してはある程度影響があるだろう。

しかし、マクロ経済にとって真に重要なのは実際の金利上昇のタイミングと幅だ。そしてこれは経済指標に依存しており、QE終了あるいは/およびQT開始のタイミングには依存していない。

結論として、当社はQE終了がマクロ経済に具体的な影響があるとは考えていない。少なくともRBAの行動が他中銀の行動に沿ったものであるためだ。

QTは既存の流動性を引き上げるため、より大ごととなり得る。この観点からは2点、言及しておく意義がある。第一に、当社の予想ではRBAは保有債券の償還分を再投資しない。当社はこれを「受動的」QTと呼んでいる。RBAが積極的に保有債券を売却するとしたら驚きだ。ロウRBA総裁は2月2日の講演における質疑応答で、RBAは債券を償還まで保有し続けると述べ、ヒントを出した。2023年央まで、受動的QTはごく僅かしかバランスシート削減に寄与しない。その後、最初のTFFの返済や大規模な債券償還到来によりペースが速まる。

第二に、Fedは今後12-18ヵ月間、RBAよりも速いペースでバランスシートを縮小する見込みだ。もしこれが為替相場に影響があるとしたら、想定されるRBAのアプローチはそうでない場合と比べて著しい期間のより緩和的な金融環境につながるようになる。

最後に、RBAの債券保有額は3,560億豪ドルに達したことを指摘しておく価値があろう。この全てがQEプログラムの一環として買い入れられたものではなく、大部分がYT政策に関連し、一部が市場安定化のために買い入れられたものだ。



国境再開は観光セクターにとって大ごとだが、当社のGDP見通しへのインプリケーションは限定的

観光客が戻りつつある

ヘイデン・ダイムズとアリンダム・チャクラボーティの見解

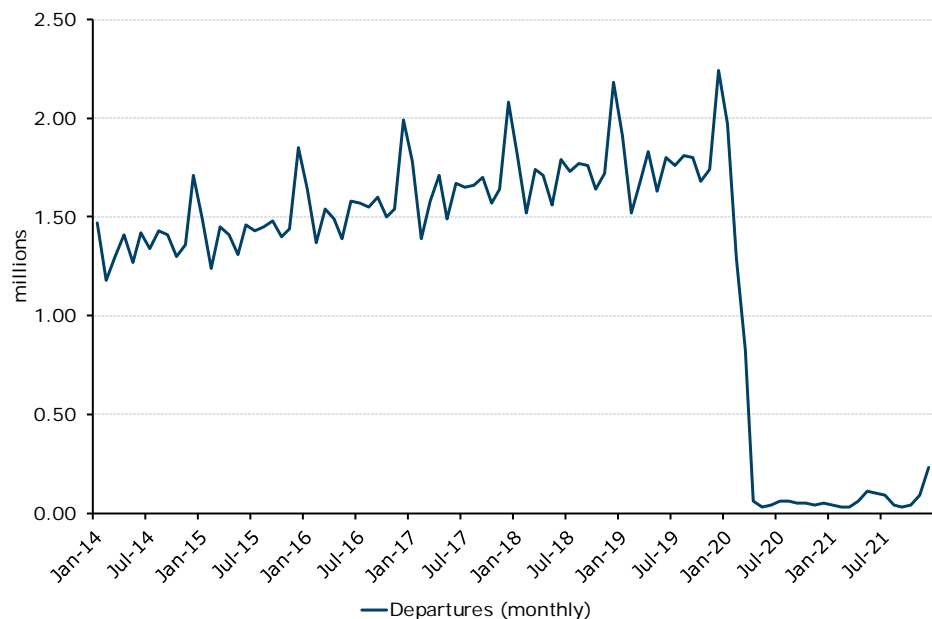
2月7日週に連邦政府は2月21日からワクチン接種完了済みの観光客に対し国境を再開すると発表した。この変更により、事実上パンデミック前と同じように豪州の国境を往来できるようになる（西オーストラリア州は例外）。

国境再開は当社の想定より早かった。当社は、豪州がシンガポールと同様のアプローチを取り、「トラベル・バブル」対象国を徐々に拡大すると想定していた。豪州の観光セクターにとって国境再開前倒しは莫大な押し上げ要因だ。ただしサービス貿易に関する当社の従来の想定と比べ、GDPに対し比較的小幅な押し上げ効果しかない。

どの程度迅速に観光業が回復するかについては不確実性が大きい。純輸出にとって究極的に鍵となるのは、海外から豪州へ来る人々と比べ豪州人が海外旅行に安心できるかだ。当社がかつて議論したように、豪州からの出国と豪州への入国の差が貿易収支に影響する。直近までのデータによれば、様々なシナリオが想定できる。

ワクチン接種完了済みの豪州人に対しては、昨年11月半ばに国境が再開された（出国、入国両方）。豪州統計局の12月の暫定出入国統計によれば、豪州人は海外旅行を急いでいない（図表1）。国境再開直後で今後数ヶ月間のデータがより重要となるが、出国者数は2023年に入ってもパンデミック前には届かないのではと当社は疑っている。

図表 1. 豪州からの出国者数は12月に増加も非常に低水準

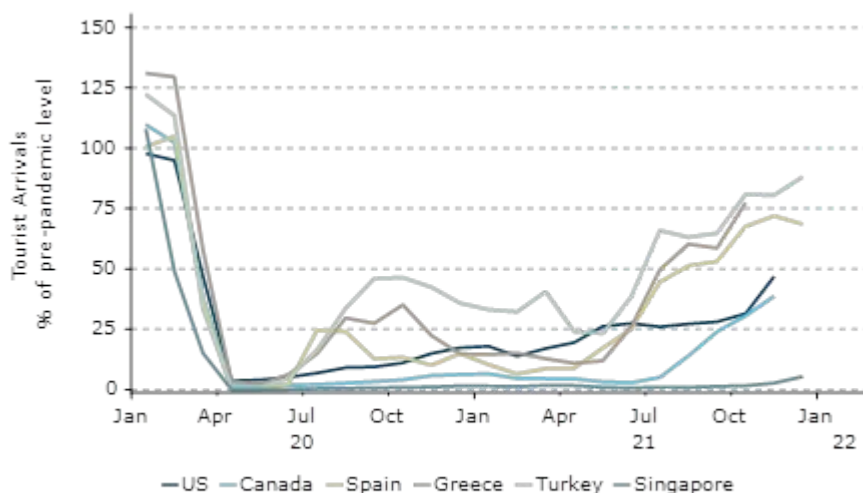


Source: ABS, ANZ Research

外国人がどの程度速く豪州に戻ってくるかについては、2021年までに国境を再開した他国の経験によれば、様々な可能性が考えられる。



図表 2. 海外旅行者の入国者数の回復にはばらつきがある



Source: BEA, INE, NTT, STB, StatCan, TCT, Macrobond, ANZ Research

例えばギリシャとトルコでは観光客の入国者数がパンデミック前の75%超に達したが、数ヵ月間かかった。豪州は他国から距離があることを踏まえると、豪州で観光客の入国者数がギリシャなどのように速く回復するとは当社は考えていない。当社は豪州はカナダや米国の経験に近いのではと疑っており、観光客の入国者数は2022年末までにパンデミック前の30-50%程度しか回復しないだろう。

1月雇用統計プレビュー：オミクロンに注意

キャサリン・バーチの見解

1月雇用統計はオミクロン株の影響を反映する最初の公式統計となる。

調査参照期間は1月2-15日で、同期間の新規感染者数は2.6万人から10万人超へ増加した。消費者および企業の信頼感は低下した。ANZが観測している支出データは1月前半に通常以上に減少しており、中でも外食/持ち帰りの減少が顕著だった。

全ての減少が行動規制に関連したものではない。人々は公共の場で過ごす時間を削減することを選び、一部の財の供給が制約され、人々がコロナに感染したり隔離されたり感染した家族の看病に当たったりしたことから労働者の確保が困難だった。

それでも、2021年末における労働市場のモメンタムと、オミクロン株が主要経済指標に与える影響の特異性を踏まえると、当社は雇用者数が増加し失業率が低下すると予想している。ただし1月の強い季節要素も加わるため、不確実性は非常に高い。

主要指標の一部は影響を受けるだろう：

雇用者数：当社は前月比2.0万人増を予想している。一部の労働者は企業の操業低下・停止によりレイオフされたかもしれないし、一部は例えば家族の看病のため退職したかもしれない。しかし、殆どの企業がオミクロン株による感染の波は過ぎ去るものだと想定し労働者を保持し続けており、また一部企業は感染したあるいは隔離されている労働者をカバーするため追加的に雇用せねばならなかった。1月の雇用者数が減少しても、減少は小幅で短期間に留まると当社は考えている。

労働参加率：雇用者数と同様に、労働参加率も1月は休暇シーズンのため原計数で大幅に低下する傾向がある。しかし当社は季節調整済み計数では労働参加率の低下は小幅にとどまると予想している。例えば、仕事がない人々の一部は積極的な職探しをやめたか、オミクロン株により1月中は働けなかった。

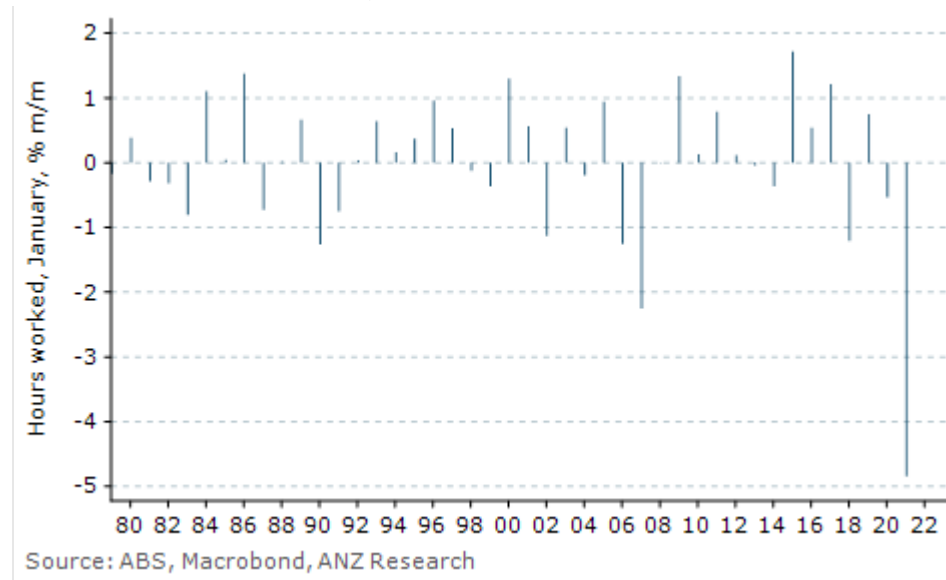


失業率：当社は4.2%から4.0%への低下を予想している。雇用者数、労働参加率および人口増加率の変化の全てが失業率に影響するが、人口増加率は12月に豪州の国境が再開され始めたことから小幅に持ち直し始めている。もし雇用者数の小幅増と労働参加率の小幅低下という当社の予想が正しければ、失業率低下に十分だろう。

不完全雇用率：不完全雇用率は12月に0.8%ポイント低下し13年振りの低水準となる6.6%となった。当社は1月にさらに低下すると予想している。コロナに感染したか隔離中の労働者はより長時間働くことができないので、**不完全雇用者**として分類されない。そして一部の労働者は、就業不可能となった労働者の労働時間分を働くことになる場合、不完全雇用労働者から完全に雇用された労働者へ再分類される。

労働時間：労働時間は通常、コロナ感染の影響を反映する良い指標だったが、2021年1月に労働時間が前月比4.8%減と、(全国ロックダウンがあった)2020年4月以降で2番目に大きい減少幅となり、過去の1月の最大減少幅の倍以上となった。豪州統計局はこの要因として、特に常勤労働者で通常より多くの人々が夏場に年次休暇を取得したことを挙げた。コロナ禍がもう一年続く中、こうした現象が再び起こり、オミクロン株の労働時間に与えた影響を抽出するのが困難となる可能性がある。

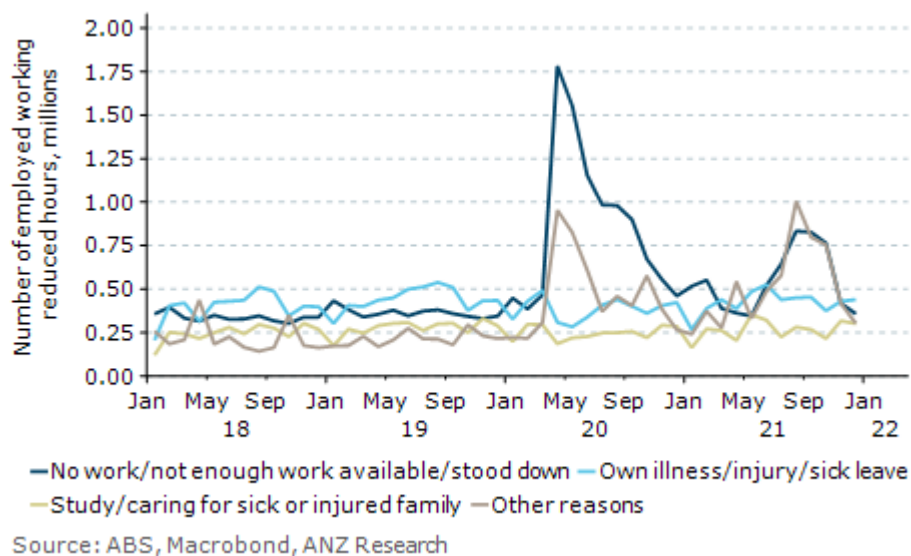
図表 3. 1月の労働時間の月次変化



その他の指標：有用指標として注目されるのは、経済的理由、病気、病気の家族の看病およびその他の理由（その他は隔離されたり濃厚接触者となった労働者を含む）により労働時間を削減されたあるいは労働時間ゼロの雇用者数（およびその労働時間）だろう。この指標は仕事があるが年次休暇により労働時間が短縮されたりゼロとなった労働者を除いたものとなる。



図表 4. 労働時間が短縮された労働者・理由別



最近のインサイト記事

レポートをダウンロードするにはタイトルをクリックして下さい。

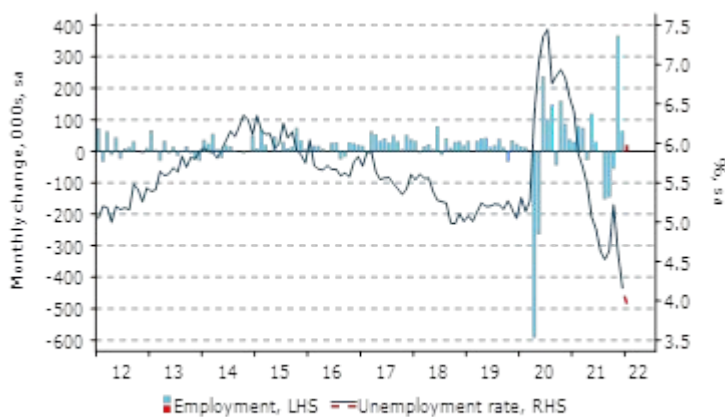
- 2月9日発行、ANZ データ：自宅から出られない状態から自宅に閉じこもる状態に
- 2月4日発行、豪州インフラ投資アップデート：障害から抜け出す
- 2月2日発行、RBA は「歴史的機会」の中で忍耐強く待つ
- 2月1日発行、RBA は「忍耐強い」姿勢継続だが 2022 年第 3 四半期に利上げ開始へ
- 2月1日発行、ANZ 豪州データ：オミクロン株感染減少と共に支出が改善
- 1月27日発行、RBA の政策金利の最終到達点は市場予想よりも高い可能性
- 1月18日発行、ANZ 豪州データ：オミクロンにより支出は減少しオンラインへシフト
- 1月13日発行、豪第 4 四半期 CPI は総合、コアとも高水準に
- 1月12日発行、豪労働市場：新年の改革
- 1月7日発行、ANZ 豪州データ：デルタ株感染以後で最悪
- 1月5日発行、ANZ 豪州データ：外食への恐怖
- 1月4日発行、ANZ 豪州データ：支出データ総まとめ

毎週、当社チーフエコノミストの リチャード・イエッツェンガ が前週の ANZ グローバルリサーチの中からテーマと洞察をまとめた **The Shortlist** をご提供しております。登録をご希望の方は当社まで E メールをお送り下さい。





1月雇用統計



2月17日木曜

	ANZ 予想	市場予想	前回
雇用者数変化、千人	+20	-15	+65
失業率、%	4.0	4.1	4.2

当社はオミクロン株新規感染者数の増加でも労働市場改善のモメンタム継続により、労働市場が1月にさらにタイト化すると予想している。前述のプレビューをご参照。

Catherine Birch



豪州經濟活動*

	% q/q						% y/y			
	Sep-21	Dec-21	Mar-22	Jun-22	Sep-22	Dec-22	2020	2021	2022	2023
GDP	-1.9	2.4	2.1	1.6	1.2	0.8	-0.8	3.0	5.8	2.6
Employment growth	-0.7	0.5	2.2	1.1	0.7	0.6	-1.0	2.1	4.7	2.4
Unemployment rate	4.6	4.7	4.6	4.4	4.1	4.0	6.8	4.7	4.0	3.8
Wage price index	0.6	0.7	0.7	0.8	0.8	0.8	1.4	2.3	3.1	3.3
Headline inflation	0.8	1.3	0.7	0.6	0.6	0.7	0.9	3.5	2.6	2.8
Trimmed mean inflation	0.7	1.0	0.6	0.6	0.6	0.7	1.1	2.6	2.5	2.7

*Forecasts in bold. Annual data and forecasts are through-the-year growth, except the unemployment rate which is the Q4 average.

金融市場

	Current	Mar 22	Jun 22	Sep 22	Dec 22
Interest Rates (%)					
RBA cash rate	0.10	0.10	0.10	0.25	0.75
90-day bank bill	0.07	0.11	0.14	0.46	0.76
3-year bond	1.68	1.40	1.75	1.75	2.00
10-year bond	2.21	2.00	2.10	2.10	2.25
Curve - 3s10s (bps)	53	60	35	35	25
3y swap	1.90	1.55	1.90	1.90	2.15
10y swap	2.47	2.30	2.40	2.40	2.55
RBNZ cash rate	0.75	1.00	1.50	2.00	2.50
US fed funds	0.25	0.50	1.00	1.25	1.50
US 2-year note	1.58	1.25	1.50	1.75	2.00
US 10-year note	2.03	1.50	2.00	2.00	2.25
BoE Bank Rate	0.50	0.50	0.50	0.50	0.50
Foreign Exchange					
AUD/USD	0.72	0.70	0.71	0.73	0.75
AUD/EUR	0.63	0.63	0.62	0.63	0.64
AUD/GBP	0.53	0.51	0.51	0.52	0.52
AUD/JPY	83.1	79.1	80.9	84.0	87.0
AUD/CNY	4.55	4.46	4.51	4.61	4.73
AUD/NZD	1.07	1.08	1.08	1.07	1.07
AUD/CHF	0.66	0.66	0.65	0.68	0.68
AUD/IDR	10305	9923	10047	10293	10500
AUD/INR	53.87	52.15	53.11	54.75	56.40
AUD/KRW	858	823	831	847	863
USD/JPY	116	113	114	115	116
EUR/USD	1.14	1.12	1.14	1.15	1.17
USD/CNY	6.35	6.37	6.35	6.32	6.30
AUD TWI	60.40	58.49	59.14	60.57	61.91

Bond yields are on government-issued securities at constant maturity.

Forecasts are for quarter-end.



データとイベントカレンダー

DATE	REGION	DATA/EVENT	PERIOD	MARKET	ANZ	LAST	GMT	AEDT
Monday	NZ	Performance Services Index	Jan	--	--	49.7	21:30	08:30
14-Feb	EA	ECB's Lagarde Speaks					16:00	03:00
Tuesday	AU	ANZ Roy Morgan Weekly Consumer Confidence Index	Feb-22	--	--	99.9	22:30	09:30
15-Feb		RBA Minutes (Feb)					00:30	11:30
	JN	GDP Annualized sa q/q	Q4 P	0.06	--	-3.6%	23:50	10:50
		Capacity Utilization m/m	Dec	--	--	8.0%	04:30	15:30
		Industrial Production m/m	Dec F	--	--	-1.0%	04:30	15:30
	EA	Employment q/q	Q4 P	--	--	0.9%	10:00	21:00
		GDP sa q/q	Q4 P	--	--	0.3%	10:00	21:00
		Trade Balancensa	Dec	--	--	-1.5b	10:00	21:00
		ZEW Survey Expectations	Feb	--	--	49.4	10:00	21:00
	GE	ZEW Survey Current Situation	Feb	--	--	-10.2	10:00	21:00
		ZEW Survey Expectations	Feb	--	--	51.7	10:00	21:00
	UK	Employment Change 3M/3M	Dec	--	--	60k	07:00	18:00
		ILO Unemployment Rate 3Mths	Dec	--	--	4.1%	07:00	18:00
	US	Empire Manufacturing	Feb	9	--	-0.7	13:30	00:30
		PPI Final Demand y/y	Jan	--	--	9.7%	13:30	00:30
	CA	Housing Starts	Jan	--	--	236.1k	13:15	00:15
		Existing Home Sales m/m	Jan	--	--	0.2%	14:00	01:00
Wednesday	CH	CPI y/y	Jan	1.0%	--	1.5%	01:30	12:30
16-Feb		PPI y/y	Jan	9.5%	--	10.3%	01:30	12:30
	EA	Industrial Production sa m/m	Dec	--	--	2.3%	10:00	21:00
	UK	CPI Core y/y	Jan	--	--	4.2%	07:00	18:00
		CPI y/y	Jan	--	--	5.4%	07:00	18:00
		PPI Inputnsa m/m	Jan	--	--	-0.2%	07:00	18:00
		PPI Outputnsa m/m	Jan	--	--	0.3%	07:00	18:00
	US	MBA Mortgage Applications	Feb-22	--	--	--	12:00	23:00
		Retail Sales Advance m/m	Jan	1.7%	--	-1.9%	13:30	00:30
		Retail Sales Ex Auto m/m	Jan	0.9%	--	-2.3%	13:30	00:30
		Capacity Utilization	Jan	76.8%	--	76.5%	14:15	01:15
		Industrial Production m/m	Jan	0.4%	--	-0.1%	14:15	01:15
		NAHB Housing Market Index	Feb	83	--	83	15:00	02:00
		FOMC Meeting Minutes (Jan)					19:00	06:00
	CA	Consumer Price Index	Jan	--	--	144	13:30	00:30
		CPI y/y	Jan	--	--	4.8%	13:30	00:30
Thursday	AU	Employment Change	Jan	20k	--	64.8k	00:30	11:30
17-Feb		Participation Rate	Jan	--	--	66.1%	00:30	11:30
		Unemployment Rate	Jan	4.0%	--	4.2%	00:30	11:30
	JN	Core Machine Orders m/m	Dec	-2.0%	--	3.4%	23:50	10:50
		Trade Balance	Jan	-¥1712.1b	--	-¥583.3b	23:50	10:50
	EA	ECB's Lane Speaks					14:00	01:00
	US	Building Permits m/m	Jan	-7.4%	--	9.8%	13:30	00:30
		Continuing Claims	Feb-22	--	--	--	13:30	00:30
		Initial Jobless Claims	Feb-22	--	--	--	13:30	00:30
		Philadelphia Fed Business Outlook	Feb	19.7	--	23.2	13:30	00:30
		Fed's Bullard Discusses the Economy and Policy Outlook					16:00	03:00
		Fed's Mester Speaks on Economic and Policy Outlook					22:00	09:00
Friday	NZ	PPI Input q/q	Q4	--	--	1.6%	21:45	08:45
18-Feb		PPI Output q/q	Q4	--	--	1.8%	21:45	08:45
	JN	Natl CPI Ex Fresh Food y/y	Jan	0.3%	--	0.5%	23:30	10:30
		Natl CPI y/y	Jan	0.6%	--	0.8%	23:30	10:30
	EA	ECB's Panetta Speaks					18:30	05:30
	UK	Retail Sales Ex Auto Fuel m/m	Jan	--	--	-3.6%	07:00	18:00
	US	Existing Home Sales m/m	Jan	-2.1%	--	-4.6%	15:00	02:00
		Leading Index	Jan	0.3%	--	0.8%	15:00	02:00
		Fed's Evans and Waller takes Part in Policy Panel at...					15:45	02:45
	CA	Retail Sales m/m	Dec	--	--	0.7%	13:30	00:30



この先の 5 週間

Monday	Tuesday	Wednesday	Thursday	Friday
14 Feb 	15 Feb JN: GDP (4Q P), IP (Dec F) UK: Unemp rate (Dec) GE: ZEW survey (Feb) EA: GDP (4Q P) US: Empire manf. (Feb), PPI (Jan) CA: Housing starts (Jan)	16 Feb CH: CPI, PPI (Jan) UK: CPI (Jan) US: Retail sales (Jan), IP (Jan), FOMC mins (Jan 26) CA: CPI (Jan)	17 Feb AU: Unemp. rate (Jan) JN: Trade bal. (Jan), Machine orders (Dec) US: House start (Jan), Build. permits (Jan), Philadelphia Fed (Feb)	18 Feb JN: CPI (Jan) UK: Retail sales (Jan) US: Exist. Home sales (Jan) CA: Retail sales (Dec)
21 Feb AU: PMI (Feb P) JN: PMI (Feb P) UK: PMI (Feb P) GE: PPI (Jan), PMI (Feb P) EA: PMI (Feb P) US: PMI (Feb P), Cons. conf. (Feb), Richmond Fed (Feb)	22 Feb UK: IFO (Feb) US: Chicago Fed (Jan), GDP (4Q S), New home sales (Jan)	23 Feb NZ: RBNZ cash rate AU: WPI (4Q) EA: CPI (Jan F)	24 Feb NZ: Trade bal. (Jan)	25 Feb NZ: Retail sales (4Q), ANZ cons. conf. (Feb) JN: CPI (Feb) EA: M3 money (Jan) US: Pers inc/spnd (Jan), Dur goods (Jan P), PCE (Jan), Uof Mich sent (Feb F)
Public Holiday: US, CA		Public Holiday: JN		
28 Feb NZ: ANZ Bus Conf (Feb) AU: Retail sales (Jan) JN: IP (Jan P), Retail sales (Jan) US: Wholesale inv (Jan), PMI, Dallas Fed (Feb)	1 Mar AU: RBA cash rate JN: PMI (Feb F) CH: PMI (Feb) UK: PMI (Feb F) GE: PMI (Feb F), CPI (Feb P) US: Const. spend (Jan), ISM manf. (Feb) CA: GDP (Dec), PMI (Feb)	2 Mar NZ: Build permit (Jan) AU: GDP (4Q) GE: Unemp. rate (Feb) EA: CPI (Feb P) US: ADP emp. (Feb) CA: BoC policy rate	3 Mar AU: Build approv. (Jan), Trade bal. (Jan) EA: Unemp. rate (Jan), Retail sales (Jan) US: Factory order (Jan), Durable goods (Jan F)	4 Mar GE: Trade bal. (Jan) US: Nonfarm payroll (Feb), Unemp. rate (Feb) CA: Build permit (Jan)
7 Mar AU: ANZ Job Ads (Feb) CH: Trade bal. (Feb) GE: Factory orders (Jan)	8 Mar AU: NAB Bus Conf (Feb) GE: IP (Jan) EA: GDP (4Q F) US: Trade bal. (Jan), Wholesl inv (Jan F)	9 Mar JN: GDP (4Q F), Mach ords (Feb P) CH: PPI (Feb), CPI (Feb)	10 Mar JN: PPI (Feb) US: CPI (Feb)	11 Mar NZ: PMI (Feb) UK: IP (Jan), Trade bal (Jan) GE: CPI (Feb F) US: Uof Mich sent Mar P) CA: Unemp. rate (Feb)
14 Mar EA: IP (Jan)	15 Mar CH: IP (Feb) UK: Unemp. rate (Jan) GE: ZEW survey (Mar) EA: ZEW survey (Mar) US: Empire manf. (Mar), PPI (Feb) CA: House starts (Feb)	16 Mar JN: Trade bal (Feb), IP (Jan F) US: Retail sales (Feb), FOMC rate CA: CPI (Feb)	17 Mar NZ: GDP (4Q) AU: Unemp. rate (Feb) JN: Machine order (Jan) UK: BoE bank rate EA: CPI (Feb F) US: House start (Feb), Build permit (Feb), Philly Fed (Mar), IP (Feb)	18 Mar JN: CPI (Feb), BoJ policy rate US: Existing home sles (Feb) CA: Retail sales (Jan)



重要なお知らせ

本文書は、ANZ の法人部門およびマーケッツ部門の顧客を対象としたものです。本文書を、転送、複製または配布することはできません。本文書に含まれるリサーチ及び意見は一般的な性質のものであり、個人的な金融商品に関する助言を構成せず、お客様の目的、財務状態またはニーズを考慮するものでもありません。

本文書は、特定の法域において法律により制限を受ける場合があります。本文書を受領したお客様は、すべての関連する制限について理解し、遵守する必要があります。

本文書は、オーストラリア・ニュージーランド銀行（ABN 11 005 357 522）（以下、「ANZBGL」といいます。）により準備され、ANZBGL の東京支店または ANZBGL の子会社である ANZ 証券株式会社（以下、ANZBGL と総称して「ANZ」といいます。）により配布されるものです。ANZ 証券株式会社は、日本の金融庁により規制される金融商品取引業者であり（登録番号：関東財務局長（金商）第 3055 号）、日本証券業協会に加入しています（〒100-6333 東京都千代田区丸の内 2 丁目 4-1 丸の内ビルディング 31 階）。本文書は、特定の受領者または関連するウェブサイトの許可されたユーザー（総称して、「受領者」といいます。）に対して、情報提供のみを目的として配布されるものです。

本文書は日本語参考訳であり、英語原文との間に齟齬がある場合には、原文の内容が優先します。本文書は情報提供のみを目的として配布されるものであり、本文書のいかなる記述も、商品またはサービスの売却、購入、受領もしくは提供または特定の取引戦略への参加に対する ANZ による招待、勧誘または提案を意図するものではありません。

本文書は、お客様の法域の法律により認められる場合にのみお客様に対して配布されるものであり、本文書の使用または配布が法令に反する法域、または ANZ が追加的な認可の取得もしくは登録を行うことが必要となる法域に居住または所在する受領者に対して配布されまたは使用されることを目的としたものではなく、または意図されたものでもありません。さらに、本文書に記載の商品およびサービスは、すべての国において入手可能ではない場合があります。

ANZ は、本文書に記載された商品またはサービスについて、お客様に財務、法務、税務または投資の助言を行うものではありません。投資判断を行う前に、本文書を受領者は、ご自身の状況に応じて、独立した財務、法務、税務その他関連する助言を取得してください。

ANZ は、本文書の作成にあたって一定の配慮を行っており、本文書に含まれる情報は正確であると考えていますが、情報の正確性または完全性に関し、表明または保証を行いません。さらに、ANZ は、本文書に記載された情報の正確性に影響を与える恐れのある事項を後に知った場合でも、かかる事項をお客様に通知する責任を一切負いません。

本文書の作成にあたって本文書で述べられている意見は、重要な部分において主観的な判断や分析を含む場合があります。特段の記載のない限り、これらの意見は、本文書の作成日時点のものであり、予告なく変更されるものです。また、全ての価格情報は、一例を示しているにすぎません。本文書で述べられている意見は、いつでも予告なく変更されることがあります。

ANZ は、本文書に記載される商品の実績を保証するものではありません。あらゆる投資には危険が伴い、収益が生じる場合もあれば損失を生じる場合もあります。過去の実績は、将来の実績の指標となるものではありません。本文書に記載の商品やサービスが、必ずしも全ての投資家に適しているものとはいえない場合があります。これらの商品やサービスに関する取引が危険であると考えられる場合があります。

ANZ は、関連する法律により認められる限りにおいて、あらゆる責任を明示的に免除し、本文書に起因もしくは関連して、直接的または間接的に、また不法行為（過失を含みます。）、契約、衡平法により、またはその他により生じるあらゆる損失、損害、請求、負担、訴訟手続き、支出または諸費用（以下、「負担」といいます。）について責任を負いません。本文書は、いかなる法域の規制機関または規制当局によっても審査されたものではないことにご留意ください。

ANZ および ANZ の関係当事者は、本文書で言及されている対象について利害関係を有している場合があります。ANZ および ANZ の関係当事者は、本文書に記載の商品またはサービスを取引するために顧客から手数料を受領する場合があります。またそれらの社員および取引の紹介者は、当該手数料の分配または総売上高に応じた報酬を受領する場合があります。これらは常に現地の規制に基づいて受領され、または分配されます。ANZ および ANZ の関係当事者またはその顧客はさらに、本文書に記載の商品またはサービスについて、利害関係を有しまたは買い持ちもしくは売り持ちポジションを取ります。また、随時、本人または代理人としてこれらの購入および/または販売を行う場合があります。これらの商品のマーケットメーカーを務め、または務めていた場合があります。本文書は、ANZ の利益相反に関するポリシーに従って公表され、ANZ は、ANZ および ANZ の関係当事者内において情報が他の営業部門へ流出することを防ぐため、適切な情報隔壁を設定・維持しています。

上記の開示に関する詳細をご希望の場合を含め、本文書に関するご質問は、お客様の ANZ 担当者にご連絡ください。